

STAGE+を楽しむ(350)(HP 収録)
—モーツアルトのドン・ジョヴァンニ—

1. 始めに

前報(349)に引き続き、STAGE+のモーツアルトのドン・ジョヴァンニの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(349)に引き続きモーツアルトのドン・ジョヴァンニの演奏を選びました。

アンドレ・シュエンが主演を演じる《ドン・ジョヴァンニ》

イヴァン・フィッシャー指揮ブダペスト祝祭管

収録日: 2025年11月2日

2025年ヴィチェンツァ・オペラ・フェスティバルで上演された、モーツアルトの《ドン・ジョヴァンニ》をお届けします。人生を通じて彼の音楽と深く向き合ってきたイヴァン・フィッシャーが指揮と舞台演出の両方を担当し、独自の視点でこの名作を再解釈しました。キャストも、主人公の好色な貴族ドン・ジョヴァンニを演じるアンドレ・シュエン、ドンナ・アンナ役のマリア・ベングトソンなど国際色豊かで豪華な顔ぶれ。ブダペスト祝祭管弦楽団の精緻で色彩溢れる演奏、そしてオリンピック劇場の美しい景観にもぜひご注目ください。

ソリスト:

アンドレ・シュエン (バリトン)、マリア・ベングトソン (ソプラノ)、ミア・パーション (ソプラノ)、ルイーザ・オルダー (ソプラノ)、ベルナール・リヒター (テノール)、ルカ・ピサロニ (バスバリトン)、ジュリア・セメンツァート (ソプラノ)、ダニエル・ノヨラ (バス)、クリスティアン・チェル (バス)

演奏:

ブダペスト祝祭管弦楽団

指揮:

イヴァン・フィッシャー

曲目:

ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルト 歌劇《ドン・ジョヴァンニ》K. 527



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への **Crystal EpY-G** の接続を継続し、PC の仮想アース **Crystal E Jtune** を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に **OPT ISO BOX** を適用し、**OPT ISO BOX** の AC アダプターの DC ケーブルに **FX Audio** の **Petit Susie Solid State** を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、**LAN iPurifier Pro** の交換後に元に戻しています。

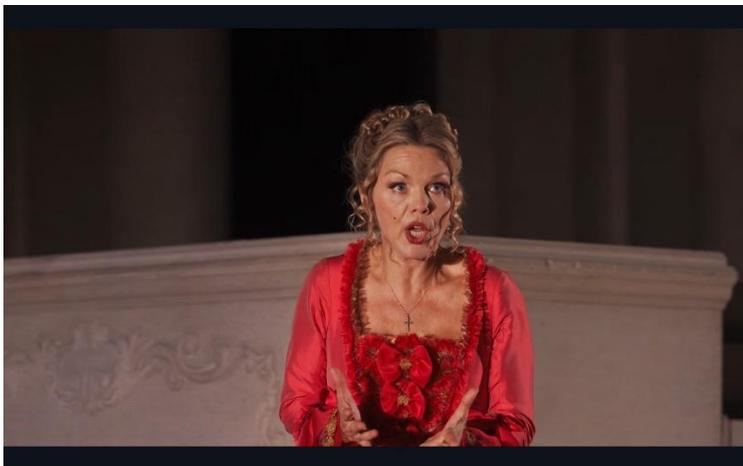
今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の **Brooklyn DAC+** に送り出しています。また、PC と **Brooklyn DAC+** の間の介在は、**iPurifier USB** からインフラノイズの **USB** アキュライザーに交換しています。クロック入力には **ABS-7777** を適用しています。

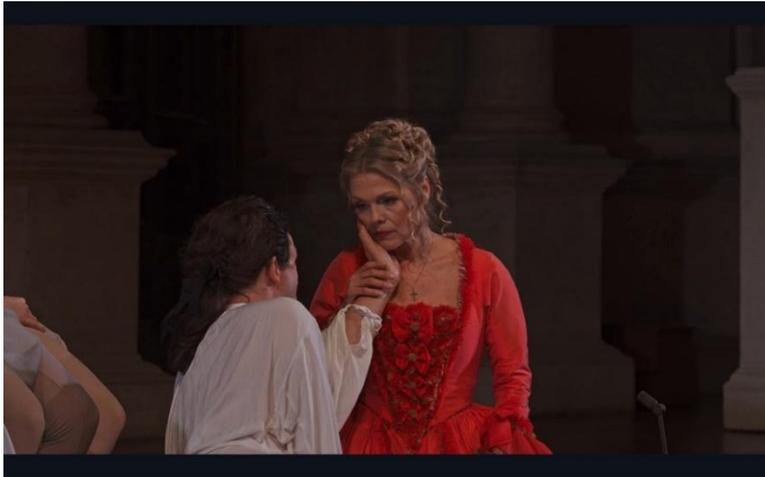
最新の収録だけあって、音質もよく、ソリストの歌唱は、収録環境の残響を伴って自然で明晰です。

簡素な舞台は固定のまま、登場人物の歌唱が、お馴染みのアリアも含めて、切れ目なく続きます。

多くのソリストの歌唱は、個性的でダイナミックであり、オペラとはこういうものだと思われられます。







4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+ に送り出し、PC と Brooklyn DAC+ の間には USB アキュライザーに交換した結果、最新の収録の音質が確保され、リアルなステージ感が再現されました。

以上